

## ゆうゆうクラブ

### 令和7年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員と活動スペースは適切であり、人数と活動内容に応じて1F、2Fを使い分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員配置は適切であり、外出時や長期休暇時はより手厚く職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	入り口の段差や傾斜、階段など、バリアフリーではない場所が多くあり、手厚い職員配置でフォローしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			広く職員が参画している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年実施し、振り返りを行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年二回の法人全体研修に加え、常勤職員は月に一回の会議の場でも研修の機会がある。動画研修の受講状況も良好である。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談支援員の作成する個別支援計画を基に、アセスメントを経て作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数の職員からアイデアを募り活動内容の幅を拡げている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			複数の職員が様々な意見を出し合い固定化しないよう工夫している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇に応じた支援活動を行っている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			様々な活動プログラムの中で、個々のニーズと状況に応じた計画を作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動開始前に当日の支援内容や役割分担について必ず打ち合わせを行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に、当日の活動内容について振り返りと支援検討を行っている。その場にいなかった職員には、翌日以降の打ち合わせの際、共有している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録を正しく記録し、日々の支援について検証・改善策を考える際の資料となっている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとの面談の際に、モニタリングを実施して振り返りを行っている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			日々の連絡調整に加え、利用開始前やモニタリング時に詳しい聞き取りを行っている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な方の受け入れは実施していない。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	利用者は中高生が中心の為、就学前の利用でなく、小学生の時に利用していた事業所などに聞き取りを行っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	②④ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて、相談支援員を介して情報の提供を行っている。
	②⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現在は実施していない。
	②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	ご家族からの要望もなく、実施していない。
	②⑦ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加し、研修会にも出席している。
	②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談時、送迎時に直接やり取りをしたり、連絡帳や電話でのコミュニケーションを多くとっている。
	②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			子どもの成長段階に応じた課題や進路についての助言などを中心に、面談時等に実施している。
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご利用開始前に書面をもって説明している。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談時や送迎時に実施している。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者からの要望もないため、実施していない。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応に関しての体制を整備し、実際に苦情があった場合は速やかに対応している。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年3回の広報紙で活動内容等の情報を共有している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			十分注意している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			伝え方や手段などは、個々の状況に応じて柔軟に対応している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		保護者からの要望がないため、実施していない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員への周知は実施しているが、保護者への周知は不十分である。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な言川練を行っているか	○			定期的に避難訓練等を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人全体研修やWeb研修などで実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束について、利用開始前に法人の方針をご家族、本人に説明している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	ご家族からの指示により対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ひやりはっと・事故報告について支援会議で共有し、改善に向けた検討を行っている。
感染予防	④⑭	感染防止への取組みについて、職員、子ども・保護者に周知しているか	○			周知している。
	④⑮	感染防止対策は、適切に行われているか	○			活動前後に活動室や車内等の換気、消毒などを行っている。